



図書館通信

最上校図書委員会 No.11 9月26日

第2回 朝読書が始まります

期間 10月2日(木)～10月17日(金)

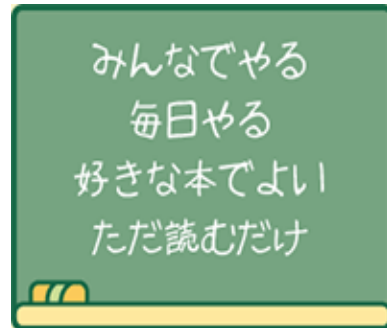
時間 8時20分～8時30分(10分間)

朝読書の4原則

※朝読書記録カードに、記入しましょう。

※雑誌やマンガ以外、読みましょう。

※本は前もって準備しておきましょう。



朝読書におすすめの新刊！

『冷たい骨に化粧』 丸木文華著

隠し通すと決めた秘密、守るために握った刃、騙し抜いてほしかった甘い言葉。その正体に気付くとき、9つの衝撃があなたを射貫く。衝撃の結末を、心してご堪能ください。

『問題。』 早見和真著

バラバラになりそうな一家は、この問題を解決することができるのか？ 中学受験を通して家族の成長を描く感動作。

『高宮麻綾の引継書』 城戸川りょう著

付度、義理、出世。それって昭和の話？ いつの時代も会社はややこしくて面白い！ 今日の味方は明日の敵。めくるめく令和のサラリーマン小説が爆誕。

『湯気を食べる』 くどうれいん著

食べることにまつわる、心にひびくエッセイ 48 編。



『別れを告げない』 ハン・ガン著

いま生きる力を取り戻そうとする女性同士が、歴史に埋もれた人々の激烈な記憶と痛みを受け止め、未来へつなぐ再生の物語。

『熟柿』 佐藤正午著

激しい雨の降る夜、眠る夫を乗せた車で老婆を撥ねたかおりは轢き逃げの罪に問われ、服役中に息子・拓を出産する。

出所後息子に会いたいあまり園児連れ去り事件を起こした彼女は、息子との接見を禁じられ、追われるように西へ西へと各地を流れてゆく。

自らの罪を隠して生きる彼女にやがて、過去にまつわるある秘密が明かされる。

『ゲーム実況者 AKILA』 夏木志朋著

学校では友達がおらず孤独な周助は、底辺ゲーム実況者・AKILA として活動している。覗(のぞ)き見から始まる、青年二人の最悪な邂逅の物語。二つの心ヒリつく青春小説

『その本はまだリリユールされていない』 坂本葵著

リリユール relieur とは、フランス語で本書では、手製本する作業のことをあらわしています。どの本の背景にも人間の物語があり、本が人の心を救いうることを学んでゆきます。

『ブレイクショットの軌跡』 逢坂冬馬著

自動車期間工の本田昴は、2年 11 カ月の寮生活最終日、同僚が SUV ブレイクショットのボルトを車体内に落とすのを目撃するが。マネーゲームの狂騒、偽装修理に戸惑う板金工、悪徳不動産会社の陥穽、移り変わっていく所有者たちの多様性と不可解さのドラマ。

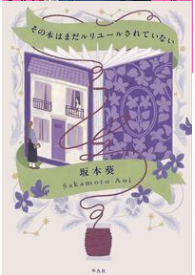
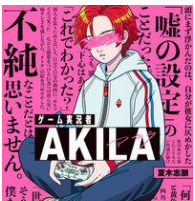
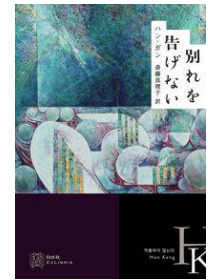
『あなたの言葉を』 辻村深月著

いまこそ伝えたい「言葉のちから」。「正解」のない世の中で、自分の言葉で考え、気持ちを伝えられるようになるために、人気作家が自らの体験をもとに語りかけるエッセイ集。

『あrika』 瀬尾まいこ著

愛はここにある。幸せはここにいる。

人々のかけがえのない関係性を紡ぎ続け、あなたの小さな、でも確かな支えとなる感動の物語！



朝読書におすすめの短編集！

『すべての、白いものたちの』 ハン・ガン著

おくるみ、産着、雪、骨、灰、白く笑う、米と飯。朝鮮半島とワルシャワの街を繋ぐ65の物語が捧げる、夢くも偉大な命への祈り。

『切願』 長岡弘樹著

短編ミステリーの名手による巧妙な伏線、予想外の結末、ビターな人間ドラマを存分に堪能できる6編。

『ぼんぼん彩句』 宮部みゆき著

宮部みゆきが深い洞察力と鑑賞力で12の俳句から紡ぎだした玉手箱。社会派からホラー、SFに至るまであらゆるジャンルに足跡を残してきた新たな挑戦！

『物語の種』 有川ひろ著

読めば心が躍り出す。ほっこり&胸キュン10編。

『空想の海』 深緑野分著

ミステリ、児童文学、幻想ホラー、掌編小説 etc. スピンオフ短編を含む、珠玉の全11編。

『不便なコンビニ』 キム・ホヨン著

誰もが生きづらさを抱えて生きるコロナ前夜のソウルを舞台に、人と人との関わり、罪と赦しを優しくユーモラスに描いた8編。

『可燃物』 米澤穂信著

連続放火事件の“見えざる共通項”を探り出す表題作を始め、葛警部の鮮やかな推理が光る5編。

『球形の囁き』 長岡弘樹著

シングルマザー刑事の啓子と、一人娘の菜月。母娘の際立つ推理力が導き出した、難事件の真相5編。

『リカバリー・カバヒコ』 青山美智子著

公園にある古びたカバの遊具・カバヒコには、自分の治したい部分と同じ部分を触ると回復するという都市伝説が？みんなの痛みにやさしく寄り添う5編。

『君が手にするはずだった黄金について』 小川哲著

認められなくて、必死だったあいつを、お前は笑えるの？彼らはどこまで嘘をついているのか？成功と承認を渴望する人々の虚実を描く話題作6編。

『わたしに会いたい』 西加奈子著

この本を読んだあと、あなたは、きっと、自分の体を愛おしいと思う。わたしの体と生きづらさを見つめる珠玉の8編。

『椿ノ恋文』 小川糸著

「いつか」ではなく、今、大切な人に伝えたい。代書屋としても、母親としても、少し成長した鳩子に会いにぜひご来店ください。5編。

『カーテンコール』 筒井康隆著

巨匠の最後の挨拶（カーテンコール）は、25編もの怒濤的傑作掌篇小説集！

『嘘をついたのは、初めてだった』 講談社編

書き出しの一行は全員「嘘をついたのは、初めてだった」。でもそこからあとは、十人十色、二十九人二十九色。恋も裏切りも、グルメも猿の手も、全部あります。

『ツミデミック』 一穂ミチ著

渦中の人間の有様を描き取った、心震える6編。

『地雷グリコ』 青崎有吾著

ミステリ界の旗手が仕掛ける本格頭脳バトル小説全5編。

『成瀬は信じた道をいく』 宮島未奈著

唯一無二の主人公、再び。その前途、誰にも予測不能！成瀬の人生は、今日も誰かと交差する。読み応えますますパワーアップの全5編！

『川のある街』 江國香織著

はかなく移りゆく濃密な生の営み。人生の三つの時間を川の流れる三つの場所から描く、生きとし生けるものを温かく包みこむ慈愛の物語3編。



※ぜひ、図書館へ！